

玉串川の桜並木 散策コース

北コース
約2km

桜の名所として知られる玉串川は、八尾市東部の住宅地を南北に貫いて流れています。昭和40年（1965年）に周辺町会の人々が協力して植えた桜の苗木等が成長し、春には、約1000本のソメイヨシノが川沿い5kmにわたり見事な桜のトンネルを演出します。

近鉄河内山本駅から北へ歩く北コースと南へ歩く南コースの2コースです。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



⑤ミアーキャット像



④カニ虫像



③河内音頭の踊り方を紹介した陶板画



②天台院



紫雲山天台院といい、比叡山にある天台宗総本山延暦寺の末寺。昭和26年（1951年）、今東光和尚が本山から特命住職として派遣され、24年間勤めた。その間、直木賞受賞作品「お吟さま」をはじめ、「悪名」「河内風土記」など河内を舞台とする数多くの名作を書き残した。

①山本八幡宮



享保元年（1716年）、山本新田の鎮守として石清水八幡宮から勧請されたものと伝えられる。



⑥山本小学校前の沿道



⑦御野縣主（みのあがためし）神社



この地は三野郷といい、玉櫛庄に属した。三野縣主の住地で、その祖神角凝魂命（つぬごりたまのみこと）、天湯川田奈命（あまゆかわたのみこと）を祀り、式内社であった。

⑧シラミ地藏

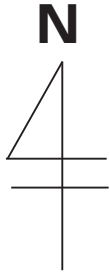


江戸時代前期ごろの阿弥陀像。謡曲や浄瑠璃で知られる俊徳丸が四天王寺へ通った道とも言われ、俊徳丸が四天王寺からここまで帰ってくると、空が白んできたことから、シラミ地藏と呼ばれた。

⑨山本新田住友会所跡

山本新田は、大和川付替え工事（宝永元年・1904年）により創生された地で、開発者山中・本山の姓をとり山本新田となった。現在は大阪郊外の住宅地となっている。新田は「河内木綿」の作付けに適し、明治になって大阪近郊の野菜供給地となった。

大正14年（1925年）に大阪電気鉄道（現在の近鉄大阪線）の路線が延伸開業し、河内山本駅が開業した。



玉串川の桜並木 散策コース

南コース
約3 km

⑩山本球場



両翼90m、中堅100mのグラウンドに2000名収容のスタンドを常設し、最新設備を整えた野球場。野球に、ソフトボールに、市民でにぎわう球場である。

⑫高井公園



遺産を市に託した市民の自宅跡に整備された公園。故人の名前から「高井公園」と命名された。約720㎡の公園は玉串川の自然環境に配慮した安らぎのある「和」を基調とした日本庭園風の趣で、平屋建ての休養施設も設けられている。



発行 八尾市総務部市政情報課
平成20年 4月
刊行物番号 H20-23



	トイレあり
	バス停
	並木道